

野外活動

ファイヤースターター火起こし



5~10月

時期



小学生~

対象



1.5時間~

時間

活動紹介

濡れても着火することができるファイヤースターターを使って火起こしを体験します。麻ひもや小枝、割り箸で作るフェザースティックを使って、徐々に火を大きくしていく方法は災害時にも役立ちます。



ファイヤースターターで、炭や薪に火をつけよう！



麻ひもをほぐして、ファイヤースターターの火花を着火させます



割り箸の表面をカッターで薄く削り重ねた「フェザースティック」を使い、炎を大きくしていきます。

事前準備（持ち物）

1. 団体 救急道具
2. 個人 動きやすい服装
3. 施設 用具一式 雑巾、掃除用具

実際の活動（例）

《実施日まで》

1. ネイパル職員と打合せ（活動内容説明）
2. 「G 活動教材申込書」提出
3. 引率者による事前指導
4. 事前準備、確認

《当日》

1. 野外炊飯場に集合
2. 活動実施 ・活動の流れ、安全、用具の説明
3. 用具返却、清掃（野外炊飯に移行可能）

【参考】火起こしの手順

- ①火花が着火しやすいよう「火口」を作る。
 - ・麻ひもをほぐす。
- ②焚き付けをつくる。
 - ・乾いた小枝を拾い集めたり、割り箸で「フェザースティック」を作ったりする。
- ③火口、焚き付け、薪（木炭）を配置する。
- ④ファイヤースターターで火花を起こし、着火する。

指導・安全確保

1. ネイパル職員が、指導や用具貸出を行う
2. 引率者は、指導補助や安全確保を行う
 - ・火やカッターの取り扱いには、特に注意する。
 - ・虫除けスプレーは、野外炊飯場の外で使用する。

留意点

1. 起こした火を用いて、野外炊飯を行うと流れがスムーズになる。
2. 引率者は、火傷やカッターによる怪我などに十分注意する。



活動をした方の声 「みんなで役割を分担して、火起こしの準備をしました。」